

資料 2

西室委員提出資料

平成18年7月20日

次世代システム構築に向けた取引参加者ミーティングの中間整理（骨子）

平成 18 年 7 月 20 日

株式会社 東京証券取引所

欧米の取引所では、取引所再編の動きや取引ニーズの多様化等を背景に、各取引所ともシステムの強化・高度化を競っている。当取引所においても、昨年来のシステム障害の中で、市場の信頼性回復及び国際的な市場競争力強化の観点から、次世代システムの構築に向けた対応が急務である。

そこで、本年 4 月に、取引参加者の C I O レベル及び実務者レベルに分けてワーキンググループを設置した。これまでの意見等を踏まえ対応の方向性を整理すると以下のとおりとなる。今後、更に意見交換を行い、9 月にシステム計画概要書を取りまとめ、公表を行う。

1. 次世代システム構築における視点

- ・ 金融テクノロジーの高度化等を背景としたアルゴリズム取引の普及や個人投資家の新規参入等により、今後も一件当たりの注文数量の小口化、注文件数の大幅な増加を見込まれる。また、取引形態の多様化により注文・約定等の高速化のニーズが高まっている。
- ・ 次世代システムの構築に当たっては、①安全性/拡張性（円滑な取引の確保）、②高速性（市場アクセシビリティの向上）、③柔軟性（多様な商品や取引ルールへの迅速な対応）、④堅牢性（社会インフラとしての取引継続性の確保）を骨子とする。とりわけ、取引所市場インフラとして円滑な取引の継続のために十分なキャパシティを確保し、そのうえで注文・執行等の高速化のための対応を図る。
- ・ なお、取引所市場の競争力の基盤は、豊富な流動性、信頼性、利便性にあることから、公正な価格形成や流動性確保のために必要となるルール（板寄せ、特別気配、制限値幅、等）や機能（空売りや異常注文のチェック、等）、取引参加者に共通に求められる機能を提供する。

2. マイルストーン

- ・ 市場を巡る環境変化に的確に対応するため 2009 年稼動を前提に進める。また、具体的な仕様の検討段階においても継続的に意見交換を実施するなど、円滑な開発が可能となるよう対応する。

3. キャパシティ

- ・ 注文件数の大幅な増加においても円滑な取引が可能となるよう、例えば分間ピーク値の 2 倍の注文件数などの複数の基準をもとに常に十分なキャパシティを確保し、当該基準に達した場合には直ちに拡張が可能なシステム設計とする。併せて、適切なキャパシティ管理のために取引参加者との情報交換等を定期化するなど管理を行う体制を整備する。

4. システム面、取引制度・慣行面の見直し

注文件数の大幅な増加や注文・約定処理の高速化等への対応のため、取引参加者の意見等も踏まえ、以下の方向でシステム面、取引制度・慣行面の見直しを行う。

a. システム面の見直し

- ・ 注文・約定の電文シーケンスや注文付番方法は、リカバリー方式の確保を前提に、レスポンスの高速化・トランザクション件数の削減の観点から簡素化する。
- ・ 訂正注文は存続するものの、訂正可能項目は利用頻度等を踏まえて簡素化するとともに、同時訂正可能項目は値段及び数量のみとする。また、訂正・取消しを行う際のキー項目は取引参加者側で付番した一意の通番とする。
- ・ 条件付注文は、寄付きや引け条件付、不成注文は存続し、それ以外は廃止する。
- ・ 注文のブロッキング機能は、レスポンス向上の観点から対応を検討する。
- ・ 取引所端末は、基本的に発注業務には利用されていない実態に鑑み、必要な提供機能を見極め、最適なサポート方法を検討する。

b. 取引制度・慣行の見直し

- ・ 公正な価格形成や市場のクオリティの観点から、板寄せや特別気配等については制度的に継続する。一方で、ルール面・システム面でも複雑となっている同時呼値の配分ルールについて見直しを行うとともに、半日立会については業界全体のシステム運用等の軽減の観点からも廃止の方向で検討を行う。

5. 市場情報の配信

- ・ 市場情報についても、現在の相場報道システムの提供方法をベースに高速化の対応を検討する。
- ・ 売買システムと相場報道システムで行っている気配数量情報の提供を統合し、併せてすべての気配数量情報の提供も検討する。
- ・ 現在提供している市況情報や新たに求められる市場情報や提供形態について、そのニーズ等を踏まえて対応を検討する。

6. その他

- ・ 広域災害等においても取引継続が可能となるようバックアップサイトの構築を念頭に対応することとし、証券市場BCP協議会等の議論を受け具体的な対応方法を検討する。
- ・ その他、平日テスト環境の充実、証券取引所と参加者間の接続仕様の共通化、接続仕様書の英文提供・電子媒体による提供、銘柄情報配信時間の早期化などの対応等について検討を行う。

以上